PRESS RELEASE

令和８年 11 月５日
報道関係各位

令和8年度持続可能な地域運営実践支援プラットフォーム運営事業
地域づくり課題解決勉強会＆交流会の開催について

県では、（公財）えひめ地域活力創造センターとともに、住民主体の活力ある地域づくりを支援する標記プラットフォームを運営し、地域伴走型の相談・サポート体制により、新たな地域づくりの広域的・専門的な後方支援を行っているところです。

この度、本事業の一環として、地域運営組織の発展段階に応じた伴走支援をテーマに「地域づくり課題解決勉強会＆交流会」を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

１　日時及び場所

日時：令和8年 11 月 17日（火）　13:30～16：30

場所：　E：N　BASE（愛媛県庁第二別館内）

２　参加者

30 名（地域運営組織関係者、集落支援員、地域おこし協力隊、行政職員　など）

３　テーマ

地域伴走支援スキルアップ研修

～現場実践から学ぶ、地域の現在地に合わせた支援デザイン～

４　概要

（１）講師

愛媛県集落支援員・総務省地域力創造アドバイザー　鍋島　悠弥　氏

（公財）えひめ地域活力創造センター 副センター長　田村　政幸　氏

（２）講座内容

（第１部）地域運営組織の発展段階を測る　（13：35～14：40）

（第２部）段階による支援の匙加減を学ぶ　（14：40～15：20）

（第３部）外部支援の活用方法を学ぶ　（15：30～16：15）

（クロージング）振り返り　（16:15～16：30）

５　その他

その他詳細については、別紙チラシをご参照ください。

問合せ先
愛媛県地域政策課 ☎ 089-912-2217 ✉ chiikiseisak@pref.ehime.lg.jp　担当：井原

令和８年度　愛媛県持続可能な地域運営支援事業

～現場実践から学ぶ、地域の現在地に合わせた支援デザイン～

地域伴走支援スキルアップ研修



地域の課題、一人で抱え込んでいませんか？
本研修では、鍋島悠弥氏の実践例から地域の「現在地」を見極め、住民の思いを引き出す伴走支援のコツを学びます。
さらに愛媛県の支援プラットフォームを活用し、外部専門家を効果的に巻き込むノウハウも実践的に習得！孤軍奮闘から抜け出し、地域が自走するための「支援デザイン」を一緒にアップデートします。

会場　E:N（エン） BASE（ベース）（愛媛県庁第2別館内）

開催日時　11月17日（火）13:30-16:30

対象　県内の集落支援員、地域任用職員
集落支援を任務とする地域おこし協力隊、行政職員、地域運営組織の運営に従事する住民など

参加人数　30名（先着順）

講師　愛媛県集落支援員・総務省地域力創造アドバイザー
鍋島 悠弥氏



講座内容
（第1部）地域運営組織の発展段階を測る
（第2部）段階による支援の匙加減を学ぶ
（第3部）外部支援の活用法を学ぶ
※詳しくは裏面をご覧ください。

申し込み　右のQRコードからお申し込みください

tiliki !!!
ちいきの応援団。

(公財)えひめ地域活力創造センター

〒790-0001 松山市一番町4-1-2 愛媛県自治会館５F
TEL：089-926-2200　Mail：ehime-chiiki@ecpr.or.jp

プログラム

【第1部】現場の実践から紐解く、地域の「現在地」と住民の思い（13:35〜14:40）
＜講師：鍋島 悠弥 氏＞

鍋島氏自身の愛媛県内での活動実績や失敗談なども交え、現場目線で語っていただきます。

●レクチャー：思いを引き出す現場のリアル　住民の「本音」にどうアプローチするか。鍋島氏が実践している傾聴と対話の工夫。
●レクチャー＆ワーク：地域運営組織の発展段階を測る　地域運営組織の発展段階（準備期・形成期・実践期・自律期など）の分かりやすい解説。
●ワーク：「自分の担当地域は今どのレベルか？」を理論に当てはめて言語化する（個人ワーク＋グループ内共有）。

【第2部】現在地に見合った支援のグラデーション（14:40〜15:20）
＜講師：鍋島 悠弥 氏＞

地域のレベルを把握した上で、支援員として「どこまで手を出し、どこから見守るか」のサジ加減を学びます。

●レクチャー：フェーズ別・支援員の立ち回り方　段階ごとに変化する支援員の役割（黒衣になるタイミング、あえて失敗させる勇気など）。現場で陥りがちな「過干渉」と「抱え込み」の回避策。
●質疑応答

休憩 10分

【第3部】支援員を孤立させない外部資源の活用法（15:30〜16:15）
＜講師：鍋島 悠弥氏、田村 政幸＞

支援員が一人で抱え込まず、センター等の中間支援機関を効果的に巻き込む方法を、対談形式でレクチャーします。

●レクチャー：プラットフォーム運営事業の活用とセンターへの相談法　センターが提供できる支援メニューと、活用すべきタイミング。
●実践ノウハウ：センターへ相談する際の「情報整理のコツ」 現在のフェーズ、課題、住民の温度感をどう伝えるか。また、外部の専門家を地域に入れるタイミングと、住民へのマインドセットの働きかけ方など。

【クロージング】（16:15〜16:30）
本日の振り返り
アンケート記入・ネットワーク構築（名刺交換など）